

名古屋室内管弦楽団

The Chamber Orchestra of NAGOYA

第9回 定期演奏会

指揮：川本 貢司

フルート：高木 綾子

イベール *Ibert*
モーツァルトへのオマージュ

モーツァルト *Mozart*
フルート協奏曲 第2番 二長調 K.314

メンデルスゾーン *Mendelssohn*
交響曲 第3番 イ短調 「スコットランド」作品56

高木 綾子

川本 貢司

2016
12.8

Thu

18:00
18:20
18:45

開場
プレトーク
開演

三井住友海上しらかわホール

入場料 一般 4,000円 学生 2,500円

※未就学児童のご入場は制限させていただく場合がございます。

主催：一般社団法人 名古屋室内管弦楽団

後援：名古屋市教育局 名古屋テレビ塔株式会社

協力：NPO法人 イエロー・エンジェル

協賛：医療法人慧成会 産院いしがせの森

チケット取り扱い

電子チケットぴあ pia.jp/t Pコード：312-017
0570-02-9999

名古屋室内管弦楽団事務局 TEL 052-955-5608

しらかわホールチケットセンター TEL 052-222-7117

芸文チケットセンター TEL 052-972-0430

ヤマハミュージックリテイリング名古屋店 TEL 052-201-5152

名古屋室内管弦楽団
The Chamber Orchestra of NAGOYA



お問い合わせ / マネジメント：フランディール音楽事務所 TEL 052-955-5606 **PLEINDIRE**

名古屋室内管弦楽団

名古屋室内管弦楽団は2014年東海地区5番目のプロオーケストラとして発足しました。高い透明感と一人一人が最高のパフォーマンスをオーケストラに提供することにより生まれる高度なチームワーク、そして室内管弦楽団ならではのダイナミズム、音楽性を楽しんでいただきたいと思います。

川本 貢司 *Koji Kawamata* ◆指揮

島根県生まれ。2001年よりドイツを拠点に国際的な指揮活動を展開する。少年時代にNHK交響楽団を指揮する巨匠シャルル・デュトワの姿に感銘を受け指揮者を志す。

1995年、東京芸術大学音楽学部指揮科を卒業。指揮法を若杉弘、遠藤雅古、小田野宏之、グスタフ・マイヤー、フランス・トラヴィスの各氏に師事。在学中の1994年、22歳の若さで第10回東京国際音楽コンクール指揮部門において第3位を受賞。その後、国内外の主要オーケストラと共演を重ね高い評価を獲得し現在に至る。2009年より世界各地でデュトワ氏のリハーサルに帯同し、巨匠より直々に薫陶を授かり「音の魔術師」の神髄を会得する。

正統的な音楽語法を踏襲しつつ、現代的な感性と明晰な解釈で歌い上げる斬新で透明感ある演奏スタイルは、海外においても高い評価を確立している。2001/02から2006/07シーズンまでの6年間、フォアボンメルン歌劇場第一専属指揮者ならびに、北東ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者を兼任し、オペラ指揮の経験を重ねた。在任中の2003年、北東ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団を率いて東南アジアツアーを行う。

2007年5月「ブラハの春」国際音楽コンクール指揮部門に第3位入賞。2008/09から2013/14シーズンまでは、チェコ・ピルゼン放送交響楽団音楽監督を務める。チェコ・スロヴァキアで音楽監督を務めるのは日本人初の快挙である。2008年4月ならびに10月、イスタンブール国立交響楽団の定期演奏会に招かれて好評を博す。

2009/10シーズンは、2009年10月イスタンブール国立交響楽団のシーズンオープニングコンサートを皮切りに、翌年1月の定期公演でも再共演。同シーズンにはさらに、スロヴァキア放送交響楽団、スペイン・マラガ交響楽団、スロヴェニア国立マリボル歌劇場管弦楽団といった欧州各国の主要オーケストラと相次いで初共演を果たす。

2010年10月、ピルゼン放送交響楽団を率いリンツ・ブルックナーハウスのシーズンオープニングコンサートに出演。以後、ヨーロッパ各地で演奏旅行を重ねる。同年12月ブラハ放送交響楽団の定期演奏会をドヴォルザーク・ホールにおいて指揮し、年末にはザクセン・ランデスビューネ管弦楽団のジルベスター定期に登場、伝統のベートーヴェン第9交響曲公演を振る。翌2011年1月にスロヴェニア国立マリボル歌劇場管弦楽団、3月にスロヴァキア放送交響楽団と定期公演で再び共演。

2011/12シーズンは、10月にチェコのボフスラフ・マルティヌー・フィルハーモニー管弦楽団と初共演し、11月にブラハ放送交響楽団を再び指揮する。翌2012年1月には北チェコ・フィルハーモニー管弦楽団の定期公演に登場。5月には、「ブラハの春国際音楽コンクール」チェロ部門本選においてピルゼン放送交響楽団を指揮して伴奏を務めた。

2013年2月、名門スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団の定期公演にデビューを果たす。同年4月に中国浙江省杭州の浙江交響楽団と共演。その後、同オーケストラとの再演を含め、福建省福州交響楽団、陝西省西安交響楽団、山東省青島交響楽団、河北省河北交響楽団など中国各地のオーケストラに客演。今シーズン以降も、中国全土での客演が予定されている。



高木 綾子 *Ayako Takagi* ◆フルート

高木綾子は、確かなテクニックと、個性溢れる音色、ジャンルを超えた音楽性で、今最も注目を集める実力派フルート奏者である。テレビ・ラジオへの出演やCM出演など従来のクラシック演奏家の枠にとらわれない幅広い活動とレパートリーで各方面から注目を集めている。

愛知県豊田市生まれ。3歳よりピアノ、8歳よりフルートを始める。東京芸術大学付属高校、東京芸術大学を経て、同大学院修了。これまでにフルートを西村智江、橋本量至、G.ノアック、小坂哲也、村上成美、金昌国、P.マイゼンの各氏に、室内楽を岡崎耕治氏に師事。

高校、大学在学中よりその実力は高く評価されており、毎日新聞社主催全日本学生音楽コンクール東京大会第1位(1995年)、神戸国際フルートコンクール奨励賞(1997年)、大学内にてNTT Docomo奨学金を受け、安宅賞(1997年)、宝塚ベガコンクール優勝(1999年)、日本フルートコンベンションコンクール優勝、併せてオーディエンス賞(1999年)、第17回日本管打楽器コンクール、フルート部門第1位及び特別賞(2000年)、第70回日本音楽コンクールフルート部門第1位(2001年)、第12回新日鐵音楽賞フレッシュアーティスト賞(2001年)、ジャン=ピエール・ランパル国際フルートコンクール第3位(2005年)、神戸国際フルートコンクール第3位(2005年)など多数の受賞歴を誇る。

一方で、大学在学中より本格的な演奏活動を開始。これまでに国内主要オーケストラとの共演はもとより、新イタリア合奏団、シュトゥットガルト室内管弦楽団、ミラノ弦楽合奏団、サンクトペテルブルク交響楽団、フランクフルト室内管弦楽団などと共演。2004年秋にはバリエ室内管弦楽団との共演でデビュー。それに続く日本ツアーにも同行し好評を博した。同時に各地でのリサイタルや室内楽など活発な演奏活動を行っている。2010年には、デビュー10周年を迎え、秋に記念リサイタルを行った。

CD録音も活発に行っており、2000年3月には「シシリエンヌ〜フルート名曲集」、「卒業写真〜レイズ・ユーム・オン・フルート」を同時リリースしてCDデビュー。その後、「ジェントル・ドリームズ〜20世紀のフルート音楽」、「青春の輝き〜レイズ・カーペンターズ」を同時リリース、クラシックからボサノバまでラテンアメリカの作品を集めた「南の想い」、17世紀から現代までのフルート・ソロ曲を集めた「エール・ブルー〜青の余白」、イタリアで収録した新イタリア合奏団との共演による初めての協奏曲アルバム「イタリア」、大地、自然、生命の息吹をテーマにしたフルート名曲集「EARTH」、ギターとの福田進一とのデュオアルバム「海へ」をリリースしてそのすべてが高い評価とセールス実績を残している。2010年には、デビュー10周年を記念して、ベスト盤(日本コロムビア)とモーツァルト:フルート協奏曲集(エイバックス・クラシックス)をリリース。2011年7月には、モーツァルトのフルート四重奏曲全曲集(エイバックス・クラシックス)よりリリースして好評を博す。

現在東京芸術大学准教授、および洗足学園大学客員教授、日本大学芸術学部、武蔵野音楽大学の非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

